



新着本の紹介



青字は児童
書

書 名	著 者 名	内 容
分水 隠蔽捜査11	今野 敏	竜崎vs大物政治家 暗夜の死体とスキャンダルを巡る緊迫の攻防戦！ 鎌倉署管内にて、不審火が発生。燃えたのは週刊誌に追われている大物政治家宅。竜崎のライバル・八島と所轄による権力者への忖度が通常捜査を妨げる中、殺人事件へと発展。
おまあ推理帖	諸田 玲子	愛嬌のかたまりのような江戸のおばあちゃん“おまあ”が解くのは…殺人事件！？ おまあの家には女たちが集い、様々な悩みや事件が持ち込まれます。仲間と協力して謎を解く連携プレーや、合羽長屋の少年・乙吉との交流にも心温まるミステリです。
ヤモリさんにご褒美 れんげ荘物語	群 ようこ	自分の機嫌は自分でとる キョウコは、有名広告代理店を早期退職し、貯金を切り崩しながら古いアパート「れんげ荘」で月10万円のささやかな生活。 ささやかな幸せを身の周りでみつけながら、ゆっくり丁寧に暮らす。
最後の皇帝と謎解きを	犬丸 幸平	使用人の宦官のひとりが密室で不審死を遂げた事件を皮切りに、龍の絵に何者かの手で描き加えられていた目、ある時を境に感情をなくした宦官など、一条はさまざまな謎を少年廃帝とともに解き明かすことになる。
テミスの不確かな法廷 再審の証人	直島 翔	任官8年目の裁判官・安堂清春は、発達障害の特性に悩みながら、日々裁判に向き合っている。彼はわずかな手がかりから、事件の真相を明らかにしていく。そんな中現れた、冤罪を訴える男。殺人罪で服役していた彼を誰も相手にしないが、安堂はなぜか気にかかり……。
うちのツマ知りませんか？	野原 広子	結婚30年、仲良く暮らしていたはずの妻が「お醤油を買いに行ってくる」と出かけた切り戻ってこない。手がかりもなく、途方に暮れる夫。 その妻が残したたった1枚のメモに書かれた電話番号にかけてみると…？
殺し屋の営業術	野宮 有	営業成績第1位、契約ためには手段を選ばない、凄腕営業マン・鳥井。アポイント先で刺殺体を発見。目撃者となってしまった鳥井は、口封じとして消されそうになる。絶体絶命の中で、殺し屋相手に「ここで私を殺したら、あなたは必ず後悔します」と語り出す。
失われた貌	櫻田 智也	山奥で、顔を潰され、歯を抜かれ、手首から先を切り落とされた死体が発見。事件報道後、警察署に小学生が訪れ、「自分のお父さんかもしれない」と言う。無関係に見えた出来事が絡み合い、現在と過去を飲み込んで、事件は思いがけない方向へ膨らみ始める。

時の家	鳥山 まこと	青年は描く。その家の床を、柱を、天井を、タイルを、壁を、そこに刻まれた記憶を。幾層にも重なる存在の名残りを愛おしむように編み上げた、新鋭による飛躍作。 芥川賞受賞作（入荷次第配架予定）
叫び	畠山 丑雄	早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学び始める。紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。いつしか昭和と令和がつながり、封印されていた声が溢れ出す。大阪と大陸で響き合う夢とロマン、恋愛政治小説。 芥川賞受賞作（入荷次第配架予定）
カフェーの帰り道	嶋津 輝	上野の片隅にある、あまり流行（はや）っていない「カフェー西行」。近隣住民の憩いの場には、客をもてなす個性豊かな女給がいた。彼女たちは「西行」で朗らかに働き、それぞれの道を見つけて去って行ったが……。大正から昭和にかけ、女給として働いた“百年前のわたしたちの物語”。 直木賞受賞作（入荷次第配架予定）
カタッポ	大原悦子, 山村浩二	カタッポとは、片方だけ落とされた手袋のこと。持ち主を探すため、カタッポたちは人知れず、駅の落とし物箱を抜け出しました。彼らは無事に持ち主の元にたどり着くことができるでしょうか？

出版社HPより

【お知らせ】月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。
 ■NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイド」
 ■「ESSE」

